

## いの町史編さん室だより(No.8)

「いの町史編さん室だより」は今回で8回目になります。毎回、町史編さん作業で知り得たことや体験したことなどを町民の皆さんに紹介しておりますが、いかがでしょうか？平成26年の町の合併10周年を目標に「いの町史」の編さんを進めている町史編さん室では、町民の皆さんが参加する町史作りを目指しています。つきましては、町史編さんに役立つと思われる資料・写真などがあれば、ご連絡ください。それでは、今月のちょっと道の話どうぞ。

### 編さん室からのちょっと道の話

編さん委員 峯積 彬哲

#### 「瀬戸大橋と西バイパス」

1987(昭和62)年、だったと思う。8月の強い日差しを浴び、大汗をかきながら、てくてくと無言で歩いていました。

そこは瀬戸大橋の橋の上。児島と坂出が地続きになったということで、本四公団の案内で、下津井瀬戸大橋から坂出までの歩行取材でした。しかし道は未舗装の鋼床板の剥き出しで、暑いことこの上ない。取材クルーの中には生卵を割り鉄板に乗せて、暑さを証明しようとする人たちも…。「鉄板に隙間があるのは、寒暖差や荷重で伸縮するので、その調整のためです。」などの公団職員の説明も、うつろに聞こえていました。

翌年の4月10日。「夢の架け橋」児島一坂出ルート(瀬戸大橋)が開通。「四国が島でなくなる」日となります。式典は皇太子ご夫妻(現在の天皇)や竹下首相などが臨席し、盛大に行われ祝賀ムードいっぱいでした。取材で登った北備讃瀬戸大橋の塔頂からの瀬戸内海のパノラマは、素晴らしく美しかったのですが、それ以来、どうも高所恐怖症の気が出たようです。

今、町内の慢性的な渋滞と冠水対策のため、高知西バイパス工事が急ピッチで進んでいます。私の住む西浦団地は、渋滞を避けるための裏道として、朝夕の通勤時間帯には、多くの車が結構なスピードで通り抜けて行きます。パーガ森農道や高知西バイパスの天神IC～鎌田IC区間の開通により、通行量も増えました。お年寄りや子どもたちが、重大事故に巻き込まれないか心配し、早急な高知西バイパスの全面開通を待つところです。



工事中西バイパス枝川IC(撮影日:2013年2月14日)

しかし、道ができて良いことばかりではないような気がします。今、四国には3ルートが本州とつながっています。こちらから本州側には便利になりましたが、当然ながら向こうからも便利になりました。橋の開通により、大型資本の参入が相次ぎ、資本の脆弱な地元の企業や店が、廃業に追い込まれるケースは少なからずあるでしょう。それに過疎化も加わっています。便利になりスピードが速まる世の中では、穏やかな生活は失われていくのかもしれない。さて、良いのやら悪いのやら…?

## 情報提供のお礼

### 1 吾北清水八十八カ所巡りの情報提供について

いの町史編さん室だより2月号で、吾北清水八十八カ所巡りの記事を掲載しましたところ、清水の馬路(ばろう)地区の筒井二三四さんから「昔なつかしい大師回りのことが出ていまして大変嬉しく思い筆を執らせてもらいました。」との手紙をいただきました。早速、お会いして話を聞くことができました。大師回り、おぶっしょ、お正月のお茶菓子の豆腐・153(いちごさん)のおしめ・純信の話など興味深い話が次々と出ました。一度ですべてを聞き取ることができませんでしたので、後日お伺いすることとしました。ありがとうございました。

その後の調査で、清水、小川の他に大野内(下八川)、田野々(上八川)八十八カ所が確認できました。さらに、縦ノ木山(小川)、木ノ瀬～津賀谷(上八川)にもあるという情報を得ています。そうすると、旧吾北村のほぼ全域でお遍路が行われていたこととなります。ここにも吾北地区の地域性が表れているように思います。

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室(内線31)

☎ 893-2012 ☎ 893-2013

いろいろな情報  
をお待ちして  
おります。

